

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	-	-	-
		コンビニ（経営者）	販売量の動き	・近くのスーパーが閉店した影響で、客の流れが変わり、売上は前年同月比で10%増加している。またタスポの導入により、たばこの仕入れが5月の倍に伸びている。ただし、客の購買力は低下している。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・タスポ導入の影響で、たばこやその他の商品の販売が好調である。
		コンビニ（エリア担当）	来客数の動き	・タスポの導入により、今までたばこを自動販売機で購入していた客が来店するようになり、来客数は前年同月比で10%ほど増加している。
		コンビニ（企画担当）	来客数の動き	・来客数が増加している。ただし、先月までは多くの商品の値上がりが続くなかで、来客数が減少し売上も前年割れしていた。今月の来客数の増加は、タスポの導入という当業界だけの特殊要因によるものである。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・販売量が、ここにきて急激に増加している。
	家電量販店（店員）	販売量の動き	・液晶テレビや季節商品の動きが良くなっている。	
	変わらない	一般小売店〔薬局〕（経営者）	単価の動き	・ガソリン、食料品の価格上昇や医療費の負担増などを背景に、必要最小限の物を少しでも安く買おうという傾向が、一層強くなってきている。近隣の100円ショップや生鮮食品が割安なスーパーの来客数は増加している。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・相変わらず、余分な物は買わない状況が続いている。
		一般小売店〔自然食品〕（経営者）	来客数の動き	・値上げ商品が一段落したことで、固定客は従来どおり来店している。他店への流出はみられない。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・クリアランス前の買い控えはある程度予想されたが、予想以上の買い控えがある。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・この数が月間ファッション関連商品の動きが鈍かったが、今月に入り、紳士服や雑貨の売上も厳しくなっている。父の日商戦の来客数も大幅に減少し、客単価も低下している。
		スーパー（店員）	販売量の動き	・土日の売上が減少している。
		スーパー（総務担当）	販売量の動き	・来客数、客単価共に、ほぼ横ばいである。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・タスポの導入により、たばこを店内で購入する客が増加して、ついで買いもある。しかし、全体的な売上の減少をカバーするには至っていない。
		コンビニ（店長）	来客数の動き	・来客数は増加しているが、タスポの導入という要因があり、景気が良くなっているとは判断できない。
		衣料品専門店（経営者）	来客数の動き	・バーゲンセールが間近であるが、定価のウィンドウ商品を買ってくれる客も多い。
乗用車販売店（経営者）		販売量の動き	・ガソリン価格の高騰により、軽自動車の販売を主とする当社にとっては追い風が吹いている。しかしその一方で、競争が激化している。	
乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・中古車は新車に比べて燃費が悪いため、中古車販売もガソリン価格高騰の影響を受けている。また、車の利用率が低下している。		
乗用車販売店（従業員）	単価の動き	・新型車効果があり、1台当たりの単価は大幅に上昇している。しかし、販売台数は前年より減少している。そのため、全体で見れば、増益には結び付いていない。		
その他小売〔水産物卸売〕（経理担当）	販売量の動き	・ここ4か月間ほど、売上の低迷が続いている。		
一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・最近では、週末、平日共に、日によって来客数が大きく変動する。		
都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・ガソリン、食品などの価格上昇に伴い、客の購買意欲は相変わらず低下している。		

	旅行代理店（経営者）	お客様の様子	・販売量の動きは、依然として悪い水準にある。
	旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・国内旅行はまずまずであるが、海外旅行は伸び悩んでいる。
	旅行代理店（従業員）	来客数の動き	・例年と比べて、フェリー等の利用による帰省客が減少している。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・団体旅行のピークにあたる今月は、例年以上に取扱量がある。会社の職場旅行や招待旅行、研修旅行が、多数実施されている。ただし、燃油価格の高騰を受けてバス代や飲食代などの仕入価格が上昇しているため、収入面では伸びていない。
	タクシー運転手	単価の動き	・6月は27日の1日だけ繁華街の人出が多かったが、それ以外は閑散としている。
	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・来客数は数か月前から伸びており、売上は引き続き前年同月を上回っている。
	住宅販売会社（従業員）	お客様の様子	・来客数は、例年並みである。
やや悪くなっている	商店街（代表者）	販売量の動き	・原材料価格の高騰とガソリン価格の高騰に伴う輸送費の増加により、販売価格が高くなっており、販売量は減少している。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・今月10日以降、売行きは極端に悪くなっている。商店街の通行量はあまり変わらないが、来客数は減少しており、客単価も低下している。また、季節商品の売上も伸びていない。
	一般小売店〔土産〕（経営者）	来客数の動き	・ガソリン価格が高騰しており、客は節儉している。土産品はその対象になっている。観光客数も、一時ほどの勢いが無い。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	販売量の動き	・梅雨でも晴天の日が多く、天候としてはまずまずであるにもかかわらず、状況は良くない。ガソリン価格が急騰し、食料品価格も上昇していることが背景にある。また、タスポの導入により、自動販売機でのたばこの売上がこれまでの20%ほどに減少している。そのため、売上は今年最低の水準である。
	一般小売店〔生花〕（経営者）	来客数の動き	・来客数がかかなり落ち込んでいる。
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・来客数が減少している。加えて、酒類を卸している飲食店の閉店も増えている。
	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	お客様の様子	・諸物価が高騰しているため、客は余分なお金があれば貯蓄している。そのため、贈答品の購買に対して顕著な影響が出ている。
	百貨店（企画担当）	販売量の動き	・呉服、宝飾、美術品、特選ブランドなど、高額品の売上の落ち込みが目立っている。ただし、価格帯を下げたセール商品の売上は堅調である。
	百貨店（外商担当）	単価の動き	・外商顧客を対象に絵画展を開催したところ、前年と比べて、販売点数はまずまずであったが、単価は低下している。余裕が失われてきている。
	百貨店（婦人服販売担当）	お客様の様子	・前年と比べて、客単価、購入点数共に悪化している。客は、目当ての商品があるにもかかわらず、何度も下見を重ねてより安い商品を探している。
	百貨店（販売担当）	単価の動き	・ボーナス月ながら、非常に厳しい日が続いている。高額商品の動きが鈍く、来客数も減少している。セット販売もままならず、売上は減少している。客の購買意欲は、一段と低下している。
	百貨店（販売担当）	お客様の様子	・見ているだけの客、セールの下見をしている客が、例年より増加している。また、近隣に大型スーパーが開店した影響で、2万円を超える商品は、手に取っても価格を見ただけで戻している。
	スーパー（経営者）	単価の動き	・何もかも値上がりしているため、これまでは価格を気にせず買物していた客でも、必ず価格を確認してから買うようになってきている。他の客も、買い控えがみられる。
	スーパー（経営者）	お客様の様子	・日用品の値上がりが激しいが、所得は増加していないため、客は家計を切り詰めている。
	スーパー（店長）	お客様の様子	・食料品の値上げが相次いでおり、消費は冷え込んでいる。特売品でも以前のような低価格を打ち出すことは難しく、チラシでの集客は難しくなっている。また、以前より商品価格は高くても粗利益は低い状況で、経営を圧迫している。

スーパー（店長）	販売量の動き	・客の購入量が減少している。
スーパー（店長）	単価の動き	・商品価格が上昇しているため、必需品以外は買わない傾向が出てきている。
スーパー（店員）	販売量の動き	・以前は菓子などのし好品がよく売れていたが、今は少しずつ減少している。
スーパー（営業担当）	単価の動き	・来客数はほぼ横ばいであるが、客単価や一品単価は大きく低下している。割安なプライベートブランド商品の動きは良いが、それによって、単価は低下している。また生鮮食品も厳しい状況である。
スーパー（仕入担当）	単価の動き	・諸物価の高騰が著しい一方で、スーパー各社は88円均一、77円均一などのチラシを毎週のように出して、安さを競っている。そのため、客の買い回りもますます増えている。
コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・タスポの導入に伴う来客数の増加を期待していたが、思ったほどではない。たばこの売上は増加しているが、それ以外の商品の売上は逆に減少している。
コンビニ（店長）	販売量の動き	・多雨と物価の上昇により、来客数は減少している。客単価も低下している。
コンビニ（商品開発担当）	お客様の様子	・ガソリン価格の上昇により、沿道の店舗の売上の落ち込みが激しくなっている。また、タスポの導入により来客数は増加しているが、他の商品の売上の伸びは低い。客は必要最小限の購入しかしない状況である。
衣料品専門店（企画担当）	販売量の動き	・衣料品の販売量は、大手、地域店を問わず、極端に減少している。
衣料品専門店（売場担当）	販売量の動き	・セール前の買い控え対策として、セール前セールを実施している。それにもかかわらず、売上は伸びておらず、前年を大幅に下回っている。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・パソコンの売上は、前年同月の9割ほどに減少している。
家電量販店（店員）	来客数の動き	・既存店の来客数は、前年を下回る日が目立っている。また、大型テレビの単価の低下も続いている。
家電量販店（店員）	競争相手の様子	・ショッピングセンターを含め、同業者の開店が増加している。原材料価格の高騰による影響もあるが、競争の激化による影響も大きい。
乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・ガソリン価格の高騰は、客の自動車関連予算を圧迫しており、点検を取りやめる客が増えている。
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ガソリン価格の高騰に、他社系列の販売店による高級ワンボックス車の販売開始が重なり、競合車種の販売台数が激しく減少している。また、低燃費の小型車に販売が移行しており、1台当たりの利益は大きく減少している。利益確保は非常に難しくなっている。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・ガソリン価格の高騰による影響もあり、ポ・ナス月にもかかわらず、来客数は著しく減少している。ひやかし客さえも減少している。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・販売量の動きは、全体的に悪くなっている。
住関連専門店（営業担当）	お客様の様子	・建築確認申請の遅れによる影響が長引いている。着工開始期は今なお遅れており、住宅、一般建築共に、新築現場は少ない。また、分譲マンション、分譲住宅の売行きも鈍化している。
その他専門店【貴金属】（店長）	お客様の様子	・ぜいたく品に対する買い控えが広がり、客は価格に対してより一層厳しくなっている。
一般レストラン（経営者）	それ以外	・乳製品を中心に値上がりが激しく、仕入れが立ちゆかなくなっている。
一般レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・当店の求人に対して、最近は異業種からの応募が増えており、他の業界も含めて景気が良くないことを実感する。
一般レストラン（従業員）	来客数の動き	・ガソリンを始め諸物価の高騰により、来客数、客単価共に低いレベルで安定している。
スナック（経営者）	来客数の動き	・5月の連休明け以降、原油価格や諸物価の高騰など先行きに不安を感じる材料ばかりで、消費意欲は低下している。そのため、繁華街の商売は厳しい状況にあり、売上は前年同月比で2割近く減少している。
その他飲食【仕出し】（経営者）	単価の動き	・5月の連休明け以降、原材料価格の高騰に伴う価格転嫁が要因となり、販売量、受注量の減少が目立っている。

	観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・ここにきて、宿泊予約の動きが鈍化している、会食でも、前年と比べて昼食、夕食共に、予約のペースが非常に遅くなっている。
	観光型ホテル（販売担当）	来客数の動き	・低迷していた婚礼需要が、今月は前年同月に対しても目標に対しても、大幅に上回っている。そのため、宴会部門は、一般宴会や宿泊宴会のマイナスを補って、良くなっている。しかし、宿泊部門は、個人の宿泊利用が全く伸びていない。
	都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊部門の売上は、前年同月比で10%強も減少している。レストラン部門でも、来客数が減少している。
	通信会社（企画担当）	販売量の動き	・解約数が増加しており、単価が低いサービスへの移行も目立ってきている。客に節約傾向がみられる。
	通信会社（サービス担当）	お客様の様子	・新規契約者が減少して、解約客が増加している。
	テーマパーク（職員）	来客数の動き	・週末の天候による影響もあるが、来客数は増加しておらず、客単価もやや低下している。
	ゴルフ場（経営者）	来客数の動き	・直前の予約件数が減少している。
	美容室（経営者）	お客様の様子	・客との会話の中で、ガソリン価格の高騰に関する話題が増えている。
	理美容室（経営者）	来客数の動き	・諸物価高騰の影響で、来客数は極端に減っている。
	美顔美容室（経営者）	来客数の動き	・売上は、この2、3か月間続けて前年度を下回っている。諸物価の高騰が影響している。
	その他サービス[介護サービス]（職員）	それ以外	・原油価格や材料価格の高騰に伴い、仕入先から値上げ要請がある。しかし、介護サービス業界ではサービス価格への転嫁ができないため、経営は非常に苦しくなっている。
	住宅販売会社（従業員）	単価の動き	・分譲マンションの売行きが悪く、販売価格を大幅に下げて販売している。立地、販売価格によって、空室が目立つマンションもある。
	住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・ガソリンや食料品の価格が高騰し、光熱費なども値上がりしているため、年配客を中心に老後の生活に不安を持っている。商談でもその話題ばかりで、契約に至らないケースが増えている。
	その他住宅投資の動向を把握できる者[工務店]（経営者）	単価の動き	・建材等の値上がりが著しく、利益率は低下している。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・商店街全体の来客数が極端に減少し、客単価も低下している。売上の減少に歯止めが掛からない。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・ガソリンを始め諸物価の上昇が、客の購買意欲を抑えている。
	商店街（代表者）	お客様の様子	・諸物価の高騰に伴い、100円均一の売上が増えている。
	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・クリアランスセール待ちの買い控えもあり、平日の売上は目標に達していない。土日の来客数は変わらないが、午前中は閑散としており、平日よりも悪い状況である。父の日商戦も、紳士靴は売れていない。
	百貨店（販売担当）	来客数の動き	・客は交通費を掛けてまで来店する気はなく、来客数は大幅に減少している。割引やポイントアップの日でも、特に欲しい商品がなければ外出しない。セールに対しても、いくつかの店のセールを併せて実施しないと、来店しない。
	乗用車販売店（従業員）	お客様の様子	・法人需要はあるが、個人需要は大きく減少している。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・来客数の減少が止まらない。一品料理や追加を勧めても反応は乏しく、客単価は低下している。財布のひもは固い。
	一般レストラン（経営者）	競争相手の様子	・50年来の営業の中でも、今月は最悪である。同業者と話をしても、状況は同じである。
	都市型ホテル（経営者）	来客数の動き	・旅行客数の減少に伴い、宿泊客数も著しく減少している。
	旅行代理店（経営者）	競争相手の様子	・夏休み向けに、ツアーの安売りが始まりつつある。それにもかかわらず、需要は低迷し始めている。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数が減少している。加えて、競争も激化している。

		設計事務所（経営者）	単価の動き	・建築基準法の改正以降、仕事を終了するまでの時間が掛かりすぎるため、建築単価が上昇している。
		住宅販売会社（経営者）	競争相手の様子	・当社でも同業他社でも、広告を出しても反応がない。全く売れていない。
企業 動向 関連	良く なっている	-	-	-
	やや良く なっている	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・生産が追いつかないほど、受注量が伸びている。
	変わらない	化学工業（総務担当）	受注価格や販売価格の動き	・販売価格が徐々に上昇して、売上も増加している。しかしその一方で、原価も上昇している。
		窯業・土石製品製造業（社員）	受注価格や販売価格の動き	・原材料、燃料共に値上がりしており、コストが増加している。しかし、製品価格への転嫁は一向に進んでいない。
		電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・取引先の業種によって、状況が異なる。情報分野は海外への生産移転に伴い減少しており、自動車やFA分野では引き続き好調である。
		輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・主要取引先からの受注量は、少しずつ減少している。ただし、大幅には減少していない。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・原油を始め原材料の価格上昇により、利益が圧迫されている企業が多い。ただし、各社共に相応に耐えている。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・これまで継続していた定期的な案件が、少し減少してきている。
	やや悪く なっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・消費者による買い控えの影響で、包装材である段ボールの出荷量も減少している。また、輸出用の梱包資材の出荷量も減少している。
		パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・最近、原材料価格が上昇しており、受注量、販売量共に2～3%減少している。
		出版・印刷・同関連産業（経営者）	取引先の様子	・取引先の半数以上が個人経営の商店であるが、物価高に伴う消費者の買い控えにより、各店共ダメージを受け始めている。
		化学工業（企画担当）	受注価格や販売価格の動き	・原材料やエネルギーの価格高騰による影響が大きい。
		金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築確認申請の遅れによる影響は徐々に解消しているが、受注量の減少は続いている。
		金属製品製造業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・物件数自体が少ないなか、引き合いが来ても、低価格を求められる。原価割れでは受注はできないため、工場の稼働率は低下している。
		一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・受注量はやや減少している。また、受注後に客から条件の交渉を求められることもある。
		電気機械器具製造業（企画担当）	取引先の様子	・関連業界でも受注量は減少しているようで、頻繁に営業を掛けられる。
		電気機械器具製造業（営業担当）	それ以外	・原材料価格の高騰分を、製品価格に転嫁できない状況にある。大幅値上げをした企業の多くでは、受注量が激減している。
		輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・取引先の輸出量が減少しているため、受注量が減少している。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・製造業では、目先の受注量が減少していないにもかかわらず、雇用を抑制し始めている。また、外部委託していた業務を内製化する動きも出ている。
輸送業（エリア担当）		受注量や販売量の動き	・輸出、輸入共に、貨物量は減少している。	
輸送業（エリア担当）		受注量や販売量の動き	・トラック貨物のうち、これまでは自車が50%、配送委託のよう車が50%であったが、荷物量が減少しているため、よう車分が20%ほど減少している。	
広告代理店・新聞販売店〔広告〕	受注量や販売量の動き	・家電メーカー、自動車メーカーの宣伝広告費が、かなり圧縮されている。そのため、広告量の減少が続いている。		
経営コンサルタント	競争相手の様子	・郊外の住宅団地では、投げ売りが始まっている。		
その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	取引先の様子	・円高等の影響により、IT関連の開発案件は先送りになっている。		

		その他非製造業 〔ソフト開発〕 (経営者)	取引先の様子	・引き合いが減少するなど、厳しくなっている。これまで好調であったライバル企業でも、仕事量は減少している。
悪くなっている	窯業・土石製品 製造業(経営者)	受注量や販売量の動き		・建築確認申請の遅れによる影響が続いている。加えて、燃料を始め諸物価の高騰や、中国、タイ、ベトナムなどからの輸入に対して、対抗できていない。
	鉄鋼業(経営者)	受注量や販売量の動き		・鋼材価格の高騰により、建築物件の大幅な減少が続いている。
	建設業(経営者)	受注価格や販売価格の動き		・建築確認申請の遅れによる影響が続いており、発注件数が少ないため、ダンピングが日常的に行われている。原価以下でなければ受注ができない状態である。
	輸送業(従業員)	受注量や販売量の動き		・日用雑貨の荷動きが低調である。また、燃料価格が高騰しているが、運賃への転嫁は難しい。値上げすると、値上げ幅の小さい他業者に移る客もある。
	輸送業(エリア担当)	取引先の様子		・取引先の中規模企業で、倒産が出始めている。原油高の影響で、経営がひっ迫してきている。
	不動産業(経営者)	それ以外		・金融機関の融資条件が厳しくなっている。そのため、物件の早期売却などが増えてきている。
	不動産業(開発担当)	受注量や販売量の動き		・分譲マンションの成約率が低下している。同業他社でも同様の状態にあり、一部の例外を除いて、ほとんどの物件が苦戦している。
	公認会計士	それ以外		・顧問先企業の業績が悪化している。
雇用 関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	職業安定所(管理担当)	求人数の動き	・当地域の有効求人倍率は、3か月連続して低下している。
やや悪くなっている	人材派遣会社(支店長)	求人数の動き		・ここ数年間、求人数は増加の一途であったが、最近では停滞している。製造業の求人数はわずかに増加しているが、開発関連の求人数は減少している。
	人材派遣会社(経営企画)	周辺企業の様子		・企業の研究開発費が抑制されてきており、技術者派遣への需要も減退している。
	人材派遣会社(社員)	求職者数の動き		・求職者数が増加している。
	人材派遣会社(社員)	求職者数の動き		・6月に入ってから、主婦の求職者が目立っている。
	人材派遣会社(社員)	求人数の動き		・企業からの派遣注文は、前年同月比で10%ほど減少している。特に新規注文の減少が著しい。派遣料金の値上げも進まず、収益確保が厳しくなっている。
	人材派遣会社(営業担当)	求人数の動き		・派遣社員の需要は、停滞してきている。
	人材派遣会社(営業担当)	求人数の動き		・5月以降、企業からの求人数は減少してきている。6月に入り、その傾向は一段と顕著になっている。
	アウトソーシング企業(エリア担当)	採用者数の動き		・派遣、請負への需要が、音を立てるようにして縮小している。その背景には、景気の低迷に加えて、間接雇用から直接雇用への移行、規制緩和から規制強化への転換がある。
	新聞社[求人広告](営業担当)	求人数の動き		・一般求人広告の件数は、減少傾向にある。これまで好調であった製造業の下請企業でも、減少し始めている。
	職業安定所(所長)	求人数の動き		・来春の新卒大学生への求人数は、6月に入って伸びが低調になっており、前年の3分の2になっている。
	職業安定所(職員)	求職者数の動き		・有効求職者数の前年同月比は、4か月連続で上昇している。
	職業安定所(職員)	求人数の動き		・輸送用機械器具製造業の求人数が、急激に減少している。
	民間職業紹介機関(職員)	求人数の動き		・求人数は3か月続けて減少している。特に証券業からの求人数が減少している。
	学校[大学](就職担当)	求人数の動き		・中小企業の人手不足は続いているが、大企業では採用の引き締めが始まっている。
悪くなっている	求人情報誌製作会社(編集担当)	求人数の動き		・中途採用の求人数は、4月以降急速に減少している。
	新聞社[求人広告](営業担当)	求人数の動き		・製造業の求人数は、正社員、派遣、請負にかかわらず、大きく落ち込んでいる。

	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 求人数が減少している。特にフルタイムの一般求人数の減少が顕著である。
	職業安定所（職員）	求人数の動き	・ 浜松地域の求人数は減少傾向にあり、小売業では前年同月比で30%超も減少しているほか、輸送用機械器具製造業やサービス業でも、2%程度の減少になっている。